

# 大野の一本桜を撮影しました

3月下旬に満開 大野分校の歴史も調査



3月の下旬から4月の初旬にかけて、大野の一本桜が満開を迎えました。期間中には3度大野を訪れ、桜や分校跡地の撮影などを行いました。

例年は水窪市街地の桜が咲いてしばらくしてからの開花となるはずが、今年はほぼ同時に満開を迎え、異例の早咲きとなりました。

町外から桜を見に来た方や、花見をしていた大野の皆さんとお話をするのができ、特に大野分校についての話は、当時の賑やかさを思い起こさせました。

昨年は時期を逃し見ることで、きなかった大野の一本桜ですが、今年は3度も訪れることが出来たので、今年の春は深く印象に残るものとなりました。

# 水窪月報

ふおとりっぷ No.33

令和5年4月27日(木)

浜松山里いきいき応援隊



山崎 洸一

電話: 080-2650-6561

メール: koh1999c@gmail.com



大野分校跡地の様子。  
集会所に今も残る木彫りの鶴は、当時校舎の入口に掲げられていたものだといえます。



# 赤外線で見える布滝

4月9日、県道水窪森線と林道天竜線を経由して秋葉神社まで行きました。その道中、布滝を赤外線にて撮影しました。

基本的にカメラは人が見えている光(可視光線)を取り込んで画像を写し出します。しかし、カメラに特殊な部品を装着することで、人が見ることの出来ない赤外線での撮影が可能になります。



赤外線で撮った写真の特徴は、緑の葉が白く写ることです。これは葉が赤外線的光を反射してカメラに届いているからです。

新緑の葉に包まれた布滝を撮ると、一般的なモノクロ写真とは違った雰囲気一枚が出来上がりました。今後もこの赤外線撮影の技術を活かして、水窪の新たな魅力を引き出していきたいと思えます。

## 野鳥の森線ウオークでヤシオの花を発見

4月8日、林道野鳥の森線にて山に生きる会主催のウォーキングイベントがありました。家老平を出発して2時間ほど歩くと、岩壁にぽつぽつと桃色に咲くヤシオを確認できる場所に到着しました。特にニゴリザワ山へ向かう登山道に咲いていたヤシオは、花の近くまで寄ってみる事が出来ました。

標高1000メートルを越える高所ということもあり、4月ながら冷たい風が吹くなかでのウォーキングになりました。ヤシオは見ごろ手前で、まだまだつぼみのものが多かったですが、今にも咲きそうなほど膨らんだつぼみからは、山にも春が着々と近づいていることを感じました。

